



こんなときどうすればいいの



8

やけどをした

緊急度

1

子どもの手のひらより小さい範囲で、赤いだけで、水ぶくれができていないとき

ひとまず自宅で様子を見て、かかりつけ医の診療開始時間まで待ちましょう。

緊急度

2

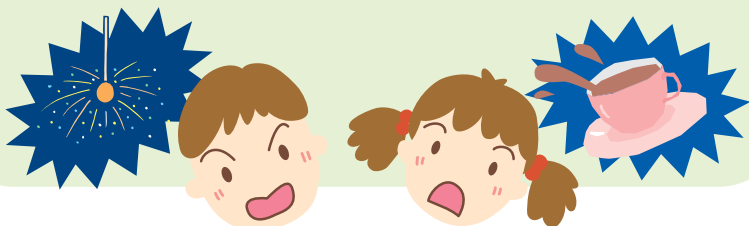
子どもの手のひら10個くらいより小さいが、水ぶくれができています

すぐに小児救急医療電話相談(P25参照)に相談してください。

※傷の手当てが必要です。

手当てが可能な医療機関(皮膚科)を受診してください。

※休日・夜間急病センターではやけどの診察はできません。



緊急度

3

◇ 大やけどの場合 ◇

● 次のような症状が1つでもあれば、

迷わず救急車を呼んでください。

- ① 子どもの手のひら10個くらいより広い範囲のやけど
- ② 皮膚が黒く焦げていたり、白くなっているとき

応急処置

- **まずはとにかく冷やす**
 - ① 流水（水道水）ですぐに冷やす
 - ② 衣服は脱がさずそのまま冷やす
 - ③ 最低20～30分は冷やす
- **水ぶくれはやぶらない**
- **なにも塗らない**

一口メモ

事故を防ごう！「やけど」は事故です

子どものやけどは、大人が少しの気配りと対応をすることで、防ぐことができます。意外と気が付かない危険もありますので、注意しましょう。

- ◎ やかん・湯沸かし器・ストーブの置き場所に注意。
- ◎ 食卓上の熱湯：食卓にはテーブルクロスは使わない。
- ◎ お風呂の湯は沸かしすぎない。
- ◎ 子どもの頭より高いところで熱いものを運ばない。

